

集中治療理学療法士【新規】認定に関するFAQ

〈目次〉

申請について	1
集中治療勤務証明書について	2
学術業績について	3 - 4
症例報告について	4
認定試験について	5

〈申請について〉

Q1 日本集中治療医学会の会員である必要はありますか？

A1 会員種別は問わず、会員であることは必須条件ではありません。

ただし、申請段階で日本集中治療医学会の会員で、かつ2年以上の正会員歴または准会員歴を有しない場合は、公益社団法人日本理学療法士協会の会員資格を有することが必要です。また、過去に2年以上の日本集中治療医学会の会員歴がある場合は、それを認めますが、現在会員でない場合は、日本理学療法士協会の会員である必要があります。いずれの場合も、日本集中治療医学会学術集会、または同支部学術集会1回以上の出席が必要です。

Q2 提出した申請書を返却してもらえますか？

A2 一度受け付けた申請書は返却しておりません。

Q3 申請後のスケジュールを教えてください。受験票や合否通知はいつ頃届きますか？

A3 ホームページに年間予定を掲載しておりますので、目安としてご参考ください。

https://www.jsicm.org/certification/pdf/PT_Schedule.pdf#view=FitH

Q4 各種審査料を支払いました。インボイス対応の領収書を発行してもらえますか。

A4 インボイスに対応した領収証の発行が可能です。ご希望の方は、当学会のお問い合わせフォーム〈お問い合わせ種別：理学療法士〉よりご依頼ください。領収証はメール添付にてお送りいたします。

<https://www.jsicm.org/contact/>

〈集中治療勤務証明書について〉

Q5 勤務証明書の算定管理料の項目についてですが、特定集中治療室管理料、救命救急入院料、集中治療科専門医が従事するハイケアユニット入院医療管理料、集中治療科専門医が従事する脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、5つ全てに該当することが必要でしょうか？

A5 すべてに該当する必要はありません。特定集中治療室管理料、救命救急入院料、小児特定集中治療室管理料、集中治療科専門医が従事するハイケアユニット入院医療管理料、集中治療科専門医が従事する脳卒中ケアユニット入院医療管理料のいずれかの算定施設において、集中治療関連業務に常勤として通算5年以上従事していれば問題ありません。（集中治療理学療法士制度施行細則第3条）

Q6 実務経験の要件のなかに「集中治療科専門医が従事するハイケアユニット入院医療管理料、集中治療科専門医が従事する脳卒中ケアユニット入院医療管理料の算定施設において」と書かれておりますが、ここでの集中治療科専門医とは、当院のHCUを管理し、早期離床リハビリテーションチームに在籍している麻酔科医をそのように呼んでもよろしいのでしょうか？

A6 集中治療科専門医とは日本集中治療医学会の集中治療専門医制度・審査委員会が審査の結果、集中治療科専門医として適格と認めたものを、理事会の議を経て認定し、認定証書の交付をうけたものを指します。

Q7 「集中治療関連業務に通算5年以上」とありますが、これは専従期間の合計が5年以上ということでしょうか？

A7 理学療法業務の特性上、期間内に集中治療以外に従事していても申請は可能です。
特定集中治療室管理料、救命救急入院料、小児特定集中治療室管理料の算定施設において、または、集中治療科専門医が従事するハイケアユニット入院医療管理料、集中治療科専門医が従事する脳卒中ケアユニット入院医療管理料の算定施設において、集中治療関連業務に常勤として通算5年以上従事していれば専従・兼任は問いません。

Q8 新生児特定集中治療室管理料の算定施設で勤務していますが、受験は可能でしょうか？

A8 新生児特定集中治療室管理料算定施設は受験資格の対象にはなりません。

Q9 集中治療施設名には何を記載すればよいでしょうか？

A9 集中治療部、集中治療センター、救命救急センター、PICUなど部門の名称を記入してください。
また、記載した部門が算定している管理料を確認し、特定集中治療室管理料、救命救急入院料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料のいずれかに必ずチェックを入れてください。
※審査時に集中治療理学療法士制度委員会から申請者に確認を行う場合があります。

Q10 現在は、ICU業務から離れていますが、過去5年以上ICUでの勤務経験がある場合は受験可能でしょうか？

A10 特定集中治療室管理料、救命救急入院料、小児特定集中治療室管理料の算定施設において、または、集中治療科専門医が従事するハイケアユニット入院医療管理料、集中治療科専門医が従事する脳卒中ケアユニット入院医療管理料の算定施設において、集中治療関連業務に通算5年以上常勤として勤務した経験があれば申請可能です。

Q11 自分は現勤務先で6年の臨床経験がありますが、勤務先での特定集中治療室管理料の算定は過去2年となります。この場合、5年の実務経験があると見なされ、受験資格があると考えられるのでしょうか？

A11 現行の規定では、特定集中治療室管理料を算定している施設における実務経験が対象となるため、現勤務先での当該実務経験は特定集中治療室管理料の算定開始以降となります。なお、質問者様が過去に同算定の他施設にて理学療法士としての勤務経験があれば、合算することができます。

〈学術業績について〉

Q12 学術業績 30 単位が必要とありますが、学術集会への出席のみでも申請条件を満たすでしょうか？

A12 日本集中治療医学会年次学術集会、または日本集中治療医学会支部学術集会に1回以上出席して単位を取得していれば、学術集会への出席のみで条件を満たすことができます。学術論文や学術発表の実績がなくても申請可能です。

Q13 日本集中治療医学会学術集会で発表した実績があります。

出席で10単位、筆頭の発表で15単位と考えてよいですか？

A13 同一の学術集会で出席と発表を兼ねている場合、出席と発表でそれぞれ単位が付与されます。

単位数については、集中治療理学療法士制度施行細則の別表 1

「申請および更新に必要な学術業績の単位数に関する配点法」をご参照ください。

https://www.jsicm.org/certification/pdf/JSICM_PT_Saisoku.pdf

Q14 日本集中治療医学会年次学術集会にオンデマンド配信で参加しました。単位として申請できますか？

A14 オンデマンド配信を実施している学術集会であれば、参加形態にかかわらず単位として申請可能です。

オンラインで参加された場合も、現地参加と同様に「参加証明書」をご提出ください。

Q15 日本呼吸ケアリハビリテーション学会の近畿支部学会の出席は単位として認められますか？

また、院内で日本救急医学会認定の ICLS コースを受講しており、こちらも単位として認められますか？

A15 支部会の出席も単位としてお認めします。

日本救急医学会認定の ICLS コースは学術集会ではありませんのでお認めできません。

Q16 業績（論文）について、病院の紀要や企業の雑誌等に記載されたものは認められますでしょうか？

A16 病院や大学の紀要、地方誌、企業の商品 PR 誌（商業誌）は認められません。

学会抄録集は論文業績として認められません。

Q17 学術業績の要件第 5 条の中に、「学術論文については、集中治療に関連する査読付き論文（原著、総説あるいは症例報告、短報、著書）であること。査読付き論文は共著も可とする。」と記載がありますが、この論文の種類は別表 1、別表 2 に記載された学会の論文に限るのでしょうか？

A17 別表 1、別表 2 に記載された学会の論文に限ります。

海外の論文は集中治療理学療法士制度委員会で判断します。

Q18 集中治療に関する論文とは具体的にどのような内容を指しますか？

A18 集中治療医学に関連する内容を指します。

関連の有無については集中治療理学療法士制度委員会で判断します。

Q19 ○○の雑誌のXXという論文は認められますか？

A19 日本集中治療医学会雑誌と Journal of Intensive Care、理学療法学、Physical Therapy Research が望ましいですが、それ以外では下記の要件を満たすものも認めています。

* 和文誌は医中誌に掲載され査読があるものまたは DOI がついているもの。

* 英文誌は PubMed に収録もしくは WEB で公開され査読があるもの。

申請書提出前に可否をお答えできません。論文が要件に合っているかどうかは提出された論文を集中治療理学療法士制度委員会で審査いたします。

Q20 「和文誌は医中誌に掲載され査読があるものまたは DOI がついているもの」とありますが、商業雑誌は含まれますか？

A20 要件を満たす商業雑誌（邦文）の例として、ICU と CCU、理学療法ジャーナルなどがあります。

集中治療に関連する内容であるかについては集中治療理学療法士制度委員会で審査いたします。

Q21 著書は業績として認められますか？

A21 医中誌に掲載され査読がある著書であれば著書であっても認めることができます。
申請書提出前に可否をお答えできません。論文が要件に合っているかどうかは提出された論文を集中治療理学療法士制度委員会で審査いたします。

Q22 論文は日本集中治療医学会雑誌や理学療法学に掲載されたものが筆頭著書である必要がありますか？

A22 共著論文でも単位数の加算は可能です。

Q23 最近、論文が採択されました。採択通知があれば、学術業績に記載して申請してもよいですか？

A23 採択通知があれば記載可能です。採択通知の複写を提出してください。

Q24 提出できる実績（論文、学会発表、学会出席）は過去5年と期間が決まっているが、2年間仕事を離れていた（留学、出産育児等）場合、猶予の考慮はありますか？

A24 申請する年の過去5年間に留学、出産・育児等休業を取得した場合は、その期間を空白とし、前後合計5年間の実績を認めます。所属する施設が発行する「留学・休業取得の証明書」を申請書類と合わせて提出してください。証明書の書式は問いません。

Q25 学術集会（年次・支部）の参加証明書を紛失しました。再発行してもらえますか？

A25 事務局では学術集会の参加証明書の再発行は行っておりません。また、領収書・抄録・参加登録メール等は、参加証明書の代替として認められません。再発行の対応方法は、会員・非会員で異なりますので、以下をご確認ください。

* 会員の方：会員マイページの参加履歴を出力して参加証明とすることができます。

その際は、必ず画面に表示される氏名を含めて出力してください。

氏名の無いものはご本人の参加証明として認めません。

* 非会員の方：参加された学術集会（年次・支部）の運営会社に再発行を依頼ください。

運営会社の連絡先は、各学術集会のホームページに掲載されています。

※すべての再発行に対応できる保証はございません。参加証明書は紛失されないよう、大切に保管してください。

Q26 セミナーの受講証明書を紛失しました。再発行してもらえますか？

A26 再発行の対応方法は、会員・非会員で異なりますので、以下をご確認ください。

* 会員の方：会員マイページの参加履歴を出力して受講証明とすることができます。その際は、必ず画面に表示される氏名を含めて出力してください。氏名の無いものはご本人の受講証明として認めません。

* 非会員の方：当会のお問い合わせフォーム「種別：各種セミナー」より、再発行を希望するセミナー名を記載のうえご連絡ください。

※すべての再発行に対応できる保証はございません。受講証明書は紛失されないよう、大切に保管してください。

〈症例報告について〉

Q27 症例報告の記入において、患者番号とは何を記載すればよいですか？

A27 1.2.3.4というような、任意に割り振った通し番号をご記載ください。

個人情報に該当する患者IDではありません。

〈認定試験について〉

Q28 試験はどのような問題がでますか？

A28 集中治療理学療法士の試験問題は、理学療法士集中治療テキスト（一部、臨床工学技士集中治療テキストの内容を含む）、集中治療医学（日本集中治療医学会編集）から出題されます。また、集中治療医学会が発行するすべての診療ガイドラインのリハビリテーションに関連した内容も試験範囲です。

Q29 試験会場はどこですか？

A29 日本集中治療医学会ホームページにて公開しています。詳細は下記をご参照ください。

<https://www.jsicm.org/certification/pt.html>

2023/5/1作成

2024/4/23改訂

2024/5/16改訂

2025/1/23改訂

2026/1/20改訂